2022年9月期　決算説明会資料
（第2四半期）

OKUMURA CORPORATION

2022年11月15日開催

連結決算の概要

（単位：百万円）

	2021/9期	2022/9期		
	実　績	予想 (5月公表値)	実　績	対前年同期 増減率
売　上　高	112,310	119,600	111,143	▲1.0%
営 業 利 益	6,714	2,100	3,681	▲45.2%
経 常 利 益	7,448	2,600	4,506	▲39.5%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	5,613	2,700	3,921	▲30.1%

（前年同期比）

- 売上高は、前年同期と比べて減収
- 各利益は、土木事業及び建築事業の利益率の低下等により減益

（業績予想比）

- 土木・建築事業共に売上高は想定を下回ったものの、売上総利益率が改善したこと等により、各利益とも業績予想を上回る
- 売上高：8,456百万円(7.1%)減少
- 売上総利益：895百万円(7.4%)増加
- 営業利益：1,581百万円(75.3%)増加
- 経常利益：1,906百万円(73.3%)増加
- 親会社株主に帰属する四半期純利益：1,221百万円(45.3%)増加

連結B/S

（単位：百万円）

	2022/3期末	2022/9期末	増　減		2022/3期末	2022/9期末	増　減
流　動　資　産	192,014	185,617	▲6,397	流　動　負　債	126,810	120,264	▲6,545
現　金　預　金	33,156	25,386	▲7,769	支払手形・工事未払金等	51,328	49,450	▲1,878
受取手形・完成工事未収入金等	142,296	128,577	▲13,718	固　定　負　債	38,112	43,708	5,596
有　価　証　券	―	10,000	10,000	ノンリコース借入金	21,062	26,439	5,377
				負　債　合　計	164,923	163,973	▲949
固　定　資　産	140,334	150,165	9,831	株　主　資　本	139,727	139,812	84
有形固定資産	73,376	77,234	3,858	自　己　株　式	▲8,061	▲5,182	2,878
無形固定資産	1,132	1,655	522	その他の包括利益累計額	27,229	29,737	2,507
投資その他の資産	65,825	71,275	5,450	その他有価証券評価差額金	24,665	25,704	1,038
投資有価証券	56,629	57,471	841	非支配株主持分	467	2,258	1,791
				純　資　産　合　計	167,425	171,809	4,383
資　産　合　計	332,348	335,782	3,434	負債純資産合計	332,348	335,782	3,434

（前期末比）

- 資産の部

➢ 「現金預金」、「受取手形・完成工事未収入金等」の減少、「有価証券」の増加

➢ 「有形固定資産」の増加

連結子会社である石狩バイオエナジー及び平田バイオエナジーの建設仮勘定の増加等により増加

➢ 「投資有価証券」の増加

上場株式6銘柄を売却したものの含み益が増加

- 負債の部

➢ 「支払手形・工事未払金等」の減少

➢ 「ノンリコース借入金」の増加

石狩バイオエナジー等の発電施設建設の進捗に伴うプロジェクトファイナンス等の増加

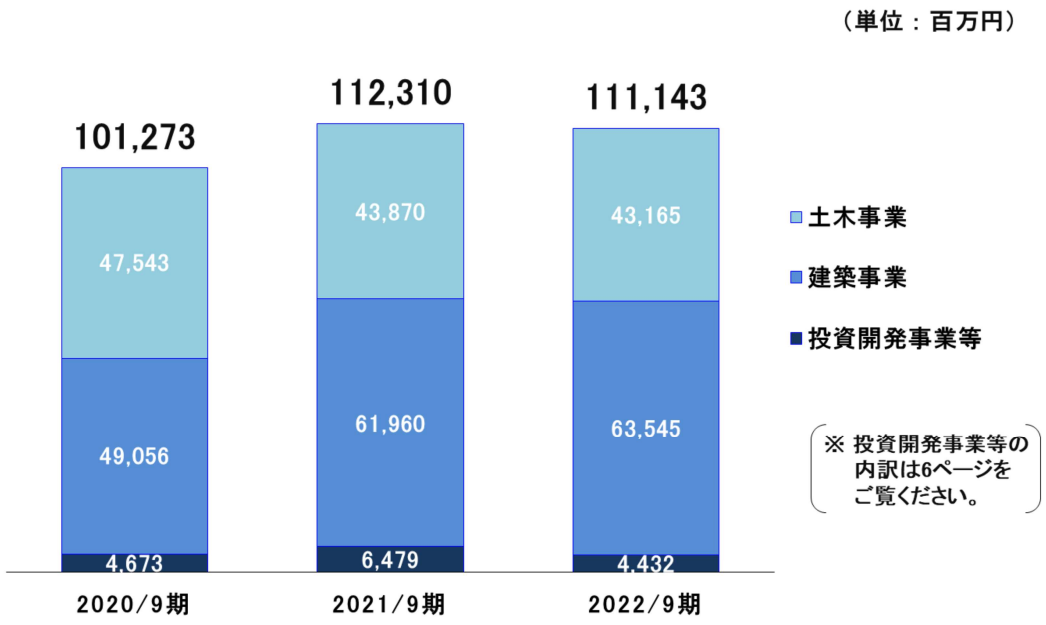
- 純資産の部

➢ 自己株式の消却(100万株)による「自己株式」の減少(消却に伴い「資本剰余金」及び「利益剰余金」も減少)

➢ 投資有価証券の含み益増加による「その他有価証券評価差額金」の増加

➢ 自己資本比率は、0.3ポイントアップの50.5%

連結P/L(売上高)

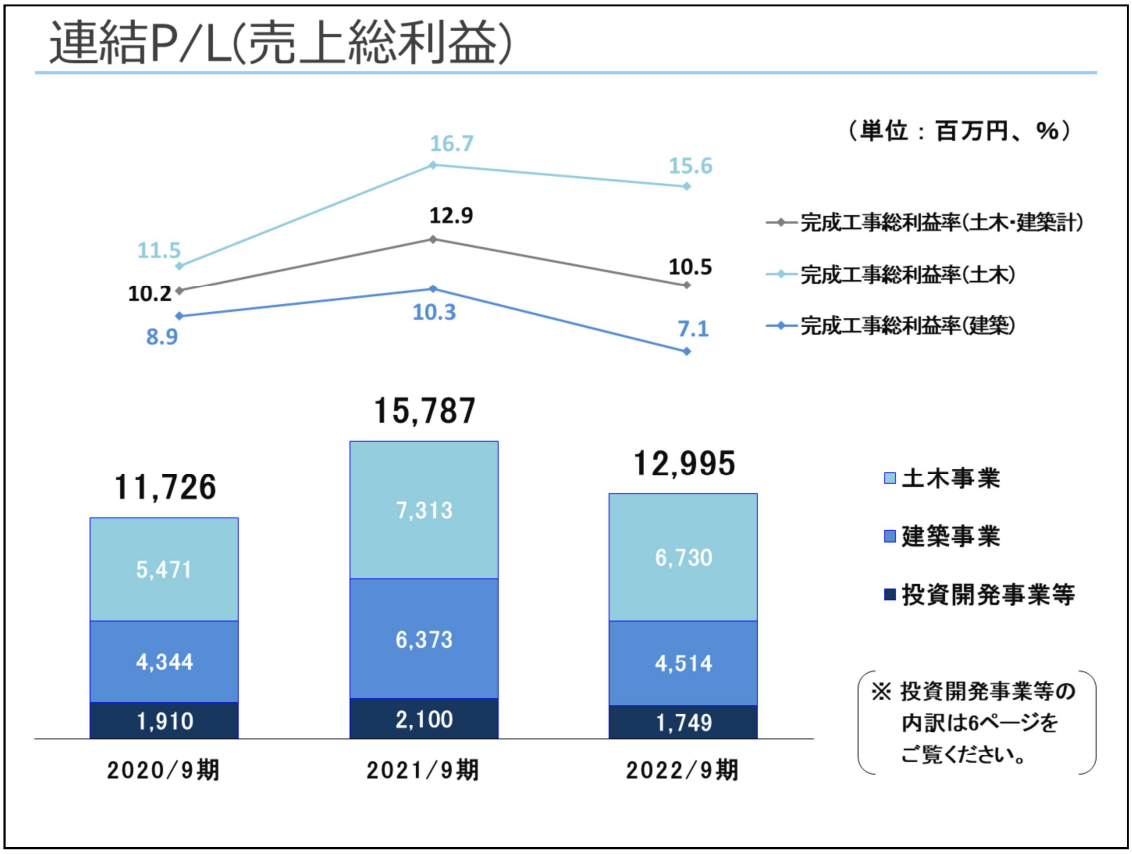


従来、「不動産事業等」としていた兼業事業の名称を当期より「投資開発事業等」に変更しています。

- 近年は繰越工事残高が高水準に推移しており、土木・建築合計で1,000億円程度の売上高を計上

（前年同期比）

- 売上高合計：1,167百万円(1.0%)減少
- 土木・建築合計：878百万円(0.8%)増加
- 土木：705百万円(1.6%)減少
- 建築：1,584百万円(2.6%)増加



（前年同期比）

- 売上総利益合計：2,792百万円減少(14.1%→11.7%、2.4ポイントダウン)

- 土木・建築合計：2,442百万円減少(2.4ポイントダウン)

- 土木：582百万円減少(1.1ポイントダウン)
  減収となったことに加え、前年同期に大幅に損益が改善した工事が複数あった反動等により減益

- 建築：1,859百万円減少(3.2ポイントダウン)
  前年同期に高採算の大型工事の売上計上があった反動に加え、資機材価格の高騰による不採算工事の発生等により減益

（前期比）

- 工事損失引当金

土木　⇒　20百万円減少(636百万円　⇒　615百万円)
　　工事完成によるもの　▲178百万円
　　引当不足によるもの　＋158百万円
建築　⇒　673百万円増加(337百万円　⇒1,010百万円)
　　工事完成によるもの　▲192百万円
　　引当不足によるもの　＋866百万円

投資開発事業等の内訳

（単位：百万円）

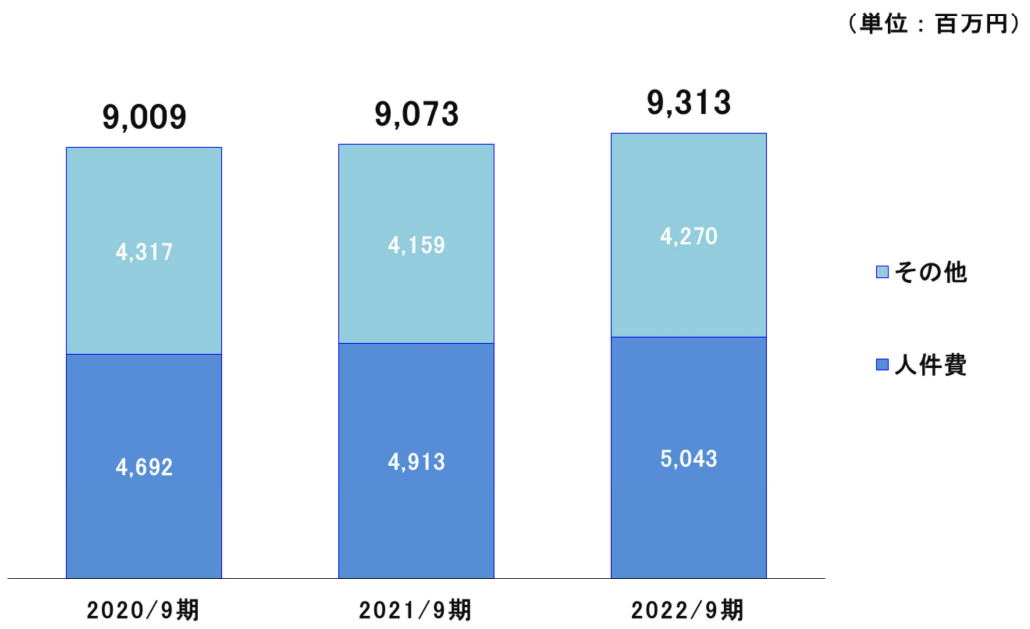
	2020/9期 実績		2021/9期 実績		2022/9期 実績	
売上高	**4,673**	**100%**	**6,479**	**100%**	**4,432**	**100%**
不動産事業	2,316		2,519		2,468	
販売	209		411		366	
賃貸他	2,106		2,108		2,101	
新事業	12		19		254	
その他	2,344		3,939		1,709	
売上総利益	**1,910**	**40.9%**	**2,100**	**32.4%**	**1,749**	**39.5%**
不動産事業	1,654	71.4%	1,733	68.8%	1,711	69.3%
販売	46	22.0%	120	29.3%	104	28.4%
賃貸他	1,608	76.4%	1,613	76.5%	1,606	76.4%
新事業	▲7	▲56.0%	▲1	▲9.2%	▲209	▲82.6%
その他	262	11.2%	368	9.3%	248	14.6%

（前年同期比）

- 売上高は2,046百万円の減収
- 売上総利益は350百万円の減益
- 新事業は、奥村組のPFI事業のマネジメント業務等と連結子会社である石狩バイオエナジー及び平田バイオエナジーのバイオマス発電事業
- その他は、奥村組の設計業務等と連結子会社である奥村機械製作の建設資機材等の製造及び販売事業

※兼業事業の名称変更に伴い、従来「その他」としていた事業区分を「新事業」及び「その他」に区分しています。

連結P/L(一般管理費)



（前年同期比）

- 一般管理費の総額は、240百万円増加
- 人件費は、社内教育の充実化(社員研修等)に伴い130百万円増加
- その他は、社員研修等に係る宿泊費及びコロナ禍の反動による出張旅費の増加により、通信交通費が増加したこと等に伴い110百万円増加

連結P/L(営業外収支)

（単位：百万円）

	2021/9期	2022/9期	
	実績	実績	増減
営業外収益	**938**	**1,091**	**152**
受取利息配当金	651	687	36
為替差益	143	268	124
営業外費用	**204**	**266**	**61**
支払利息	186	239	53
営業外収支	**734**	**825**	**91**

（前年同期比）

- 営業外収益は、円安の影響による為替差益の増加等により増加

- 営業外費用は、連結子会社である石狩バイオエナジーのプロジェクトファイナンスに係る支払利息の増加等により増加

連結P/L(特別損益・法人税等)

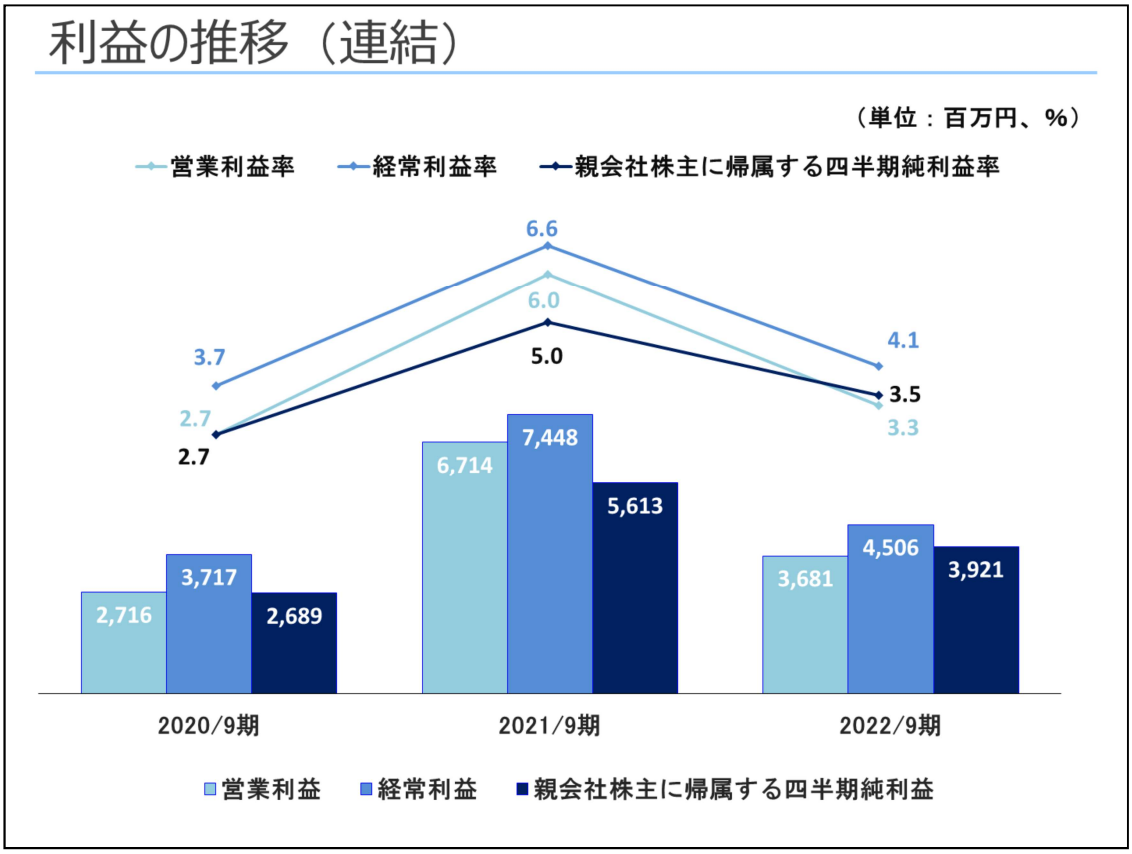
（単位：百万円）

	2021/9期	2022/9期	
	実績	実績	増減
特別利益	550	1,053	503
投資有価証券売却益	550	1,035	485
特別損失	8	22	14
投資有価証券評価損	6	18	12
特別損益	541	1,030	489
法人税、住民税及び事業税	2,083	1,578	▲505
法人税等調整額	621	391	▲229
法人税等合計	2,704	1,969	▲734

（前年同期比）

- 特別利益は、上場株式6銘柄の売却により増加

- 特別損失は、非上場株式に係る評価損の増加等により増加



（前年同期比）

- 営業利益：3,033百万円(45.2%)減少
- 経常利益：2,942百万円(39.5%)減少
- 親会社株主に帰属する四半期純利益：1,691百万円(30.1%)減少

連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	2020/9期	2021/9期	2022/9期	
	実績	実績	実績	増減
営業キャッシュ・フロー	▲10,918	44,505	3,465	▲41,039
投資キャッシュ・フロー	▲5,848	▲28,405	▲4,083	24,322
財務キャッシュ・フロー	681	▲902	1,741	2,643
現金及び現金同等物に係る換算差額	13	58	115	57
増減額	▲16,071	15,256	1,239	▲14,016
現金及び現金同等物の期首残高	27,258	20,129	31,622	11,492
現金及び現金同等物の四半期末残高	11,186	35,386	32,861	▲2,524

- 営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益の計上及び売上債権の減少等により、3,465百万円の増加
- 投資活動によるキャッシュ・フローは、投資有価証券の売却により増加したものの、石狩バイオエナジー等の発電施設建設の進捗に伴う有形固定資産の取得等により、4,083百万円の減少
- 財務活動によるキャッシュ・フローは、ノンリコース借入金の増加等により、1,741百万円の増加

連結業績予想

（単位：百万円）

	2022/3期		2023/3期			
	実 績		前回予想 (5月公表値)	今回予想		対前期増減
売上高	242,458	100%	248,000	249,000	100%	6,541
建設事業	229,906		231,000	235,000		5,093
土木	93,306		103,000	100,000		6,693
建築	136,599		128,000	135,000		▲1,599
投資開発事業等	12,552		17,000	14,000		1,447
売上総利益	31,837	13.1%	28,600	29,400	11.8%	▲2,437
建設事業	27,528	12.0%	24,200	25,000	10.6%	▲2,528
土木	16,586	17.8%	14,700	14,700	14.7%	▲1,886
建築	10,941	8.0%	9,500	10,300	7.6%	▲641
投資開発事業等	4,309	34.3%	4,400	4,400	31.4%	90
一般管理費	19,190	7.9%	20,200	20,200	8.1%	1,009
営業利益	12,647	5.2%	8,400	9,200	3.7%	▲3,447

- 2023/3期の業績予想については、第2四半期までの状況を踏まえて修正

（前回予想比）

- 売上高：1,000百万円(0.4%)増加

- 売上総利益：800百万円(2.8%)増加

- 営業利益：800百万円(9.5%)増加

- 建築：売上高は、7,000百万円(5.5%)増加
  売上総利益は、800百万円増加(0.2ポイントアップ)
  売上高は、当期受注工事の売上計上等により増収となる見込み
  売上総利益は、売上高の増加と手持工事の改善により増益となる見込み

- 投資開発事業等：売上高は、3,000百万円(17.6%)減少
  売上総利益は、据え置き
  売上高は、連結子会社である石狩バイオエナジーにおいて、発電施設の引き渡しが遅れたこと等により減収となる見込み(損益面では大きな影響はない見込み)

連結業績予想

（単位：百万円）

	2022/3期		2023/3期			
	実　績		前回予想 (5月公表値)	今回予想		対前期 増減
営業外収益	1,808	0.8%	1,500	1,500	0.6%	▲308
営業外費用	443	0.2%	600	600	0.2%	156
経常利益	**14,012**	**5.8%**	**9,300**	**10,100**	**4.1%**	**▲3,912**
特別損益	3,190	1.3%	3,000	3,000	1.2%	▲190
税金等調整前 当期純利益	**17,202**	**7.1%**	**12,300**	**13,100**	**5.3%**	**▲4,102**
法人税等	5,188	2.1%	4,500	4,700	1.9%	▲488
当期純利益	**12,013**	**5.0%**	**7,800**	**8,400**	**3.4%**	**▲3,613**
非支配株主に帰属する 当期純利益	▲528	▲0.2%	▲800	▲800	▲0.3%	▲271
親会社株主に帰属する 当期純利益	**12,541**	**5.2%**	**8,600**	**9,200**	**3.7%**	**▲3,341**
ＲＯＥ	7.5%		5%を上回る 程度	5%半ば程度		

（前回予想比）

- 経常利益：800百万円(8.6%)増加
- 親会社株主に帰属する当期純利益：600百万円(7.0%)増加
- 第2四半期決算で計上した為替差益は見込んでいない

配当の状況(1株当たり配当額)

	2022/3期	2023/3期	
	実　績	前回予想 (5月公表値)	今回予想
中間配当	６５円	６６円	(注1) ６６円
期末配当	１０７円	１０９円	１２０円
合計	１７２円	１７５円	１８６円

(注1)2023/3期の中間配当については、2022年11月11日開催の取締役会において、1株当たり66円を支払うことを決議しています。

◇当社の株主還元政策（2023/3期～2025/3期）
連結配当性向70%以上
業績にかかわらず自己資本配当率（DOE）(注2) 2.0%を下限とする。
（注2）　自己資本配当率（DOE）＝ 配当総額÷自己資本

- 中間配当は前回予想と同額の66円
- 年間配当予想額は、前回予想175円から11円増配となる186円を予定
- 年間配当予想額は、資金需要等を勘案し、個別配当性向70%相当額としており、通期業績予想における連結配当性向は74.4%

参考：受注高実績(個別)

（単位：百万円）

	2021/9期	2022/9期	
	実　績	実　績	対前年同期 増減率
土　木	42,982	37,351	▲13.1%
官公庁	31,231	29,188	▲6.5%
民　間	11,751	8,162	▲30.5%
建　築	60,304	87,661	45.4%
官公庁	3,024	6,944	129.6%
民　間	57,280	80,717	40.9%
合　計	103,287	125,012	21.0%

（前年同期比）

- 建築事業の受注高は、前期末に内定していた大型工事を契約したこと等により大幅に増加
- 土木：5,631百万円減少
- 建築：27,356百万円増加
- 合計：21,724百万円増加

参考：受注高予想(個別)

（単位：百万円）

	2022/3期	2023/3期		
	実　績	前回予想 (5月公表値)	今回予想	対前期 増減率
土　木	96,937	90,000	90,000	▲7.2%
官公庁	68,896	60,000	60,000	▲12.9%
民　間	28,040	30,000	30,000	7.0%
建　築	126,765	160,000	160,000	26.2%
官公庁	27,199	30,000	30,000	10.3%
民　間	99,565	130,000	130,000	30.6%
合　計	223,702	250,000	250,000	11.8%

（前回予想比）

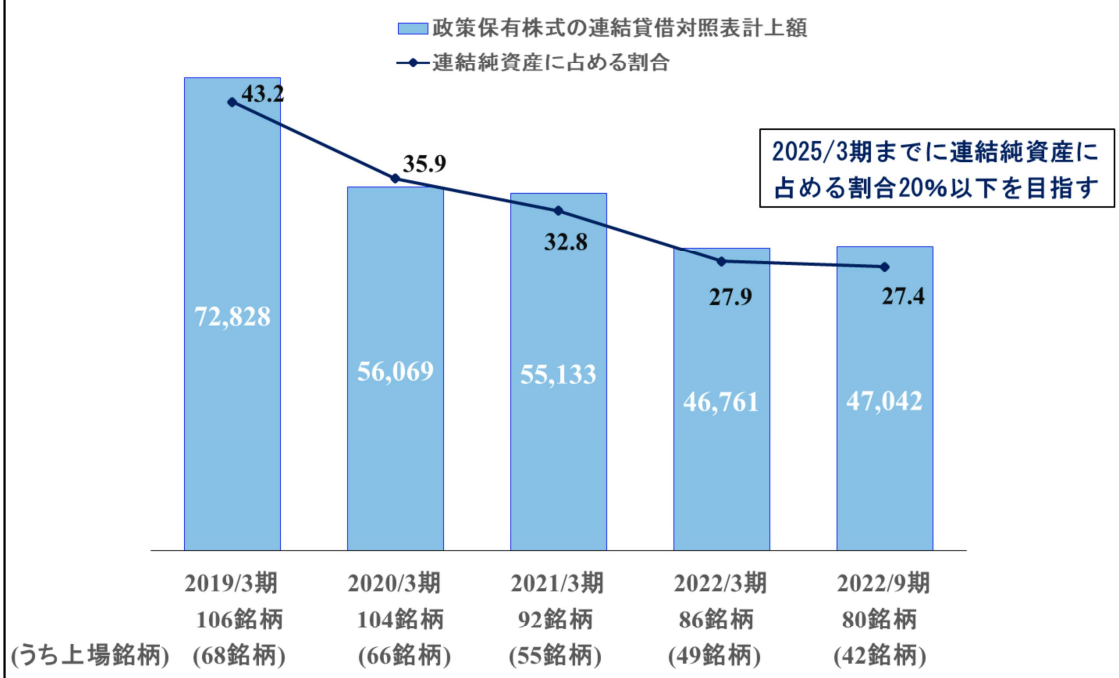
- 前回予想を据え置き

（通期の受注高予想に対する第2四半期までの進捗率）

- 土木：41.5%
- 建築：54.8%
- 合計：50.0%

政策保有株式の縮減状況

（単位：百万円、%）



- 政策保有株式について縮減を進めた結果、上場銘柄は2019/3期の68銘柄から2022/9期には42銘柄まで減少、政策保有株式の連結純資産に占める割合は43.2%から27.4%まで低下

人と自然を、技術でむすぶ。

奥村組

OKUMURA CORPORATION

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。